

ロッテミライ チャレンジ2048

創業100周年までに、未来のために実現したいこと

サステナビリティビジョンを実現し、しあわせな未来をつくるため、創業100周年(2048年)までの目標を掲げました。この目標は、進捗や社会の変化に合わせて定期的に見直し、抽象的な目標を具体的にアップデートしていきます。



©L/KMP

100周年目標

2048年度

90周年目標

2038年度

80周年目標

2028年度

現在の進捗

2024年度



お客様の選択がしあわせな未来につながるようにブランドを進化させる



人と人をつなぎ持続可能な地球を実現する



多様な人財が集い独創的なアイデアを次々と生み出す会社になる



心身の健康

- ウェルビーイングに貢献する新たな製品、サービス、事業領域でしあわせな未来をつくる

- 噛むことによる健康増進が当たり前の社会を実現する
- 製品・サービスをウェルビーイングに貢献できるようアップデートさせる

- 噛むことによる健康増進の普及に努め、咀嚼チェックガムによる咀嚼能力評価回数を年100万回以上に増やす

- 咀嚼能力評価回数 55万回



持続可能な調達

- すべての原材料で持続可能なサプライチェーンを実現する

- 主要な原材料で持続可能なサプライチェーンを実現する

- 調達するすべてのカカオ豆の生産地域把握と地域が抱える課題への支援(ガーナ産は2025年度までに)

- ロッテ サステナブルカカオ(LSC)*1 調達率 51%



サーキュラーエコノミー

- 容器包装に使用する石油由来使い捨てプラスチックをゼロにする
- ステークホルダーと連携して食品ロスおよび食品廃棄物(FLW)を最小化する

- 容器包装に使用するプラスチックを最小化、または、リサイクル可能な設計に変更する

- 主要な3製品で容器包装をアップデートする
- FLW 削減率 50%以上(原単位、2019年度比)

- 部門横断のプロジェクトチームを組成し、容器包装をアップデートする製品を検討中
- FLW 削減率 31%(原単位、2019年度比)



脱炭素

- カーボンニュートラルを実現する(Scope*2 1、2、3)

- エネルギー起源CO₂排出量削減率 62%以上(Scope 1、2・2019年度比)
- サプライチェーンGHG排出量削減率 50%以上(Scope 3・主なカテゴリー)

- エネルギー起源CO₂排出量削減率 23%以上(Scope 1、2・2019年度比)
- 削減可能な一次データを用いたサプライチェーンGHG排出量算定を実現する(Scope 3)

- エネルギー起源CO₂排出量削減率 18%(Scope 1、2・2019年度比)



社会とつながる

- 社外との共創を個人および組織の成長につなげ、社会課題の解決に貢献する

- バリューチェーン全体の脱炭素やサーキュラーエコノミーの実現に一人ひとりが貢献する
- 経験やスキルを社会に還元し、社外での多様な経験を個人および組織の成長につなげる

- 役員および社員の環境研修受講率 100%
- 社員の食育活動等参加率 20%以上(株式会社ロッテ、期間中1回以上)

- 役員向け環境研修実施
- 社員の食育活動等参加率 14.5%(株式会社ロッテ 正社員・嘱託社員へのアンケート調査*3)



人財

- 多様なグローバル人財が集い、活躍する職場を実現する

- 男女間賃金格差を是正する
- 働きたい会社として社会に認知される

- 国内女性管理職比率 10%以上
- エンゲージメント・レーティング*4 A以上(株式会社ロッテ)

- 国内女性管理職比率 8.2%*5
- エンゲージメント・レーティング B(株式会社ロッテ)

*1 ロッテ サステナブルカカオ(LSC):生産地のトレーサビリティが確立されたカカオ豆のこと。LSCの調達先に対して、生産地が抱える課題への支援を展開している。

*2 Scope: GHGプロトコルに基づく排出量の算定範囲

*3 アンケート対象者2,655名、有効回答数1,819件、食育活動等参加者264名
食育活動、食育以外のセミナー、地域・社会貢献活動を行った人数

*4 エンゲージメント・レーティング:企業と従業員のエンゲージメント(相互理解・相思相愛度合い)を表す指標評価段階はAAA~DDまで11段階

*5 組織変更に伴い、2025年3月末時点の実績より親会社である株式会社ロッテホールディングスを集計対象に含む

